

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

| | |
|--------|-----------------------------|
| 団体名 | 特定非営利活動法人戸隠森林植物園ボランティアの会 |
| 活動タイトル | 戸隠ふれあいの森に木を植えて鳥居川の水源地の森を造ろう |
| 活動地域 | 長野県/信濃町 |



5月31日植樹祭の準備、笹の根切り

【活動の目的・目標】

「地域や一般社会に対して自然環境の保全、社会教育に関する事業を行い、環境保全の増進に寄与する」ことを目的とする。

笹に覆われていた国有林「戸隠ふれあいの森」1.94haの森林整備を行い、広葉樹の苗を植え、鳥居川の水源地の森をつくる。植樹祭にはボーイスカウトの参加をえて、活動を次世代に繋ぐ。



6月4日植樹祭「これから樹を植えるぞ！」

【今回の活動で苦勞した/工夫したこと】

事業を開始してから20年以上経過し、森林整備・植樹した面積が広がる。それに従って下刈りをする面積が広がるので、メンバーだけでは手が回らなくなったこともあり、今回初めて社会貢献活動をしている企業からボランティアを受け入れた。オオヤマザクラの苗木に積雪対策として支柱を施行した。



6月4日植樹祭 心をこめて「大きく育て！」

【活動の内容・成果】

開催回数：森林整備等5回、植樹祭1回

参加人数：延べ83人

達成率：70%

笹に覆われていた1.94haの国有林「戸隠ふれあいの森」の森林整備、植樹に取り組んでいます。

年4回程度の森林整備では当団体のメンバーを中心に友好団体の協力を得ながら、笹刈り、植樹予定地の笹の根切りを行っています。同時にこれまで植樹された個所の下刈りメンテナンスを行いました。

今年の植樹祭では北信森林管理署職員の指導のもと、ボーイスカウト長野第一団のメンバーとともにブナ、ミズナラ、トチノキなどの広葉樹の苗木277本を植えました。ボーイスカウトの参加には、この活動が次世代に繋がることを期待しています。

また、生物多様性の観点から、戸隠で採取したトチノキ、オオヤマザクラ、キハダなどの種からの育苗に取り組んでいます。苗木育成用の圃場がないため、メンバーの庭でロングポットを使って育苗に取り組む工夫をしています。

事業に取り組み始めてから20年以上経過し、笹に覆われていた土地が少しずつ林らしくなってきました。

【団体概要】

当団体は「戸隠ふれあいの森」で「木を植えて鳥居川の水源地の森をつくらう」と森林整備、植樹に取り組んで20年以上経過しました。笹に覆われていた土地も少しずつ林らしくなっています。もう一つの事業、「自然観察からはじまる自然保護」を念頭に戸隠森林植物園を中心に自然観察会、ネイチャーウォーク、バードウォッチングなどを行っています。

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



戸隠ふれあいの森植樹祭を前に捕植する個所の竹の支柱にマーカーをつける作業(あいにくの雨の中、企業の社会貢献で参加した方)



新しく植樹する場所の笹の根切り作業を終え、植樹する個所に支柱立てをしている風景



6月4日 戸隠ふれあいの森植樹祭、ボーイスカウト長野第一団のメンバーとその父兄などでブナ、ミズナラ、トチノキなどの広葉樹の苗277本を植える。
ご苦労様でした。



9月12日 植林地の下刈りおよび来年度の植樹予定地の笹刈りを行った後、講師より草原性の昆虫の生態、スズメバチなど危険昆虫対策を学んだ。